
2018年度 第2四半期決算について

2018年10月31日(水)



目次

I. 2018年度 第2四半期決算概要

• 販売電力量	……	2
• 発電電力量	……	3
• 決算概要	……	4
• 連結売上高の変動要因	……	5
• 連結経常利益の変動要因	……	6
• 2018年度 業績予想および期末配当予想	……	7
• 個別決算	……	8
• 連結貸借対照表（要旨）	……	9
• 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）	……	10

II. 参考データ集

（参考）主要諸元・設備投資	……	12
（参考）燃料費調整制度の期ずれ影響イメージ[実績]	……	13
（参考）決算関係データ	……	14

I. 2018年度 第2四半期決算概要

販売電力量

	(億kWh,%)			
	2018/2Q	2017/2Q	増減	対比
	(A)	(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
小売販売	128.5	135.1	△6.6	95.1
電灯	35.0	34.8	0.2	100.5
電力	93.5	100.3	△6.8	93.2
卸販売	23.6	14.6	9.0	161.5
総販売電力量	152.1	149.7	2.4	101.6

(注) 小数第一位未満四捨五入

《主な増減要因》

- 〈電灯〉
- ・夏季の気温が前年を上回り冷房需要が増加
- 〈電力〉
- ・契約電力の減等により減少

- 〈卸販売〉
- ・卸電力取引所における販売増等から増加

(参考) 北陸3市の月間平均気温 (°C)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	14.2	18.3	22.3	28.4	28.2	22.4
前年差	+0.6	△0.6	+2.0	+1.2	+1.1	+0.3

(注) 北陸3市：富山市・金沢市・福井市

発電電力量

(億kWh,%)

		2018/2Q (A)	2017/2Q (B)	増減 (A)-(B)	対比 (A)/(B)
	[出水率]	[104.6]	[104.9]	[Δ 0.3]	
自社	水力	39.5	39.9	Δ0.4	99.1
	火力	97.4	92.9	4.5	104.9
	原子力	—	—	—	—
	新工ネ	0.0	0.0	Δ0.0	88.6
		137.0	132.8	4.1	103.1
融通	受電	26.9	28.4	Δ1.4	95.0
他社	送電	Δ23.6	Δ14.6	Δ9.0	161.5
合計		140.2	146.5	Δ6.2	95.7

《主な増減要因》

〈火力〉

- ・大型石炭火力発電所の稼働増等により増加

〈融通・他社受電〉

- ・卸電力取引所からの購入量の減少

(注) 小数第一位未満四捨五入

決算概要

(億円,%)

		2018/2Q (A)	2017/2Q (B)	増減 (A)-(B)	対比 (A)/(B)
連結	売上高(営業収益)	3,072	2,862	209	107.3
	経常利益	148	25	122	578.4
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	99	9	89	1,007.1
個別	売上高(営業収益)	2,869	2,652	217	108.2
	経常利益	140	1	139	8,027.6
	四半期純利益	104	3	101	3,208.4
中間配当		0円/株	0円/株	—	—

《主な増減要因》

- ・ 料金改定や総販売電力量の増加に伴う販売収入の増加、燃料費調整額の増加など

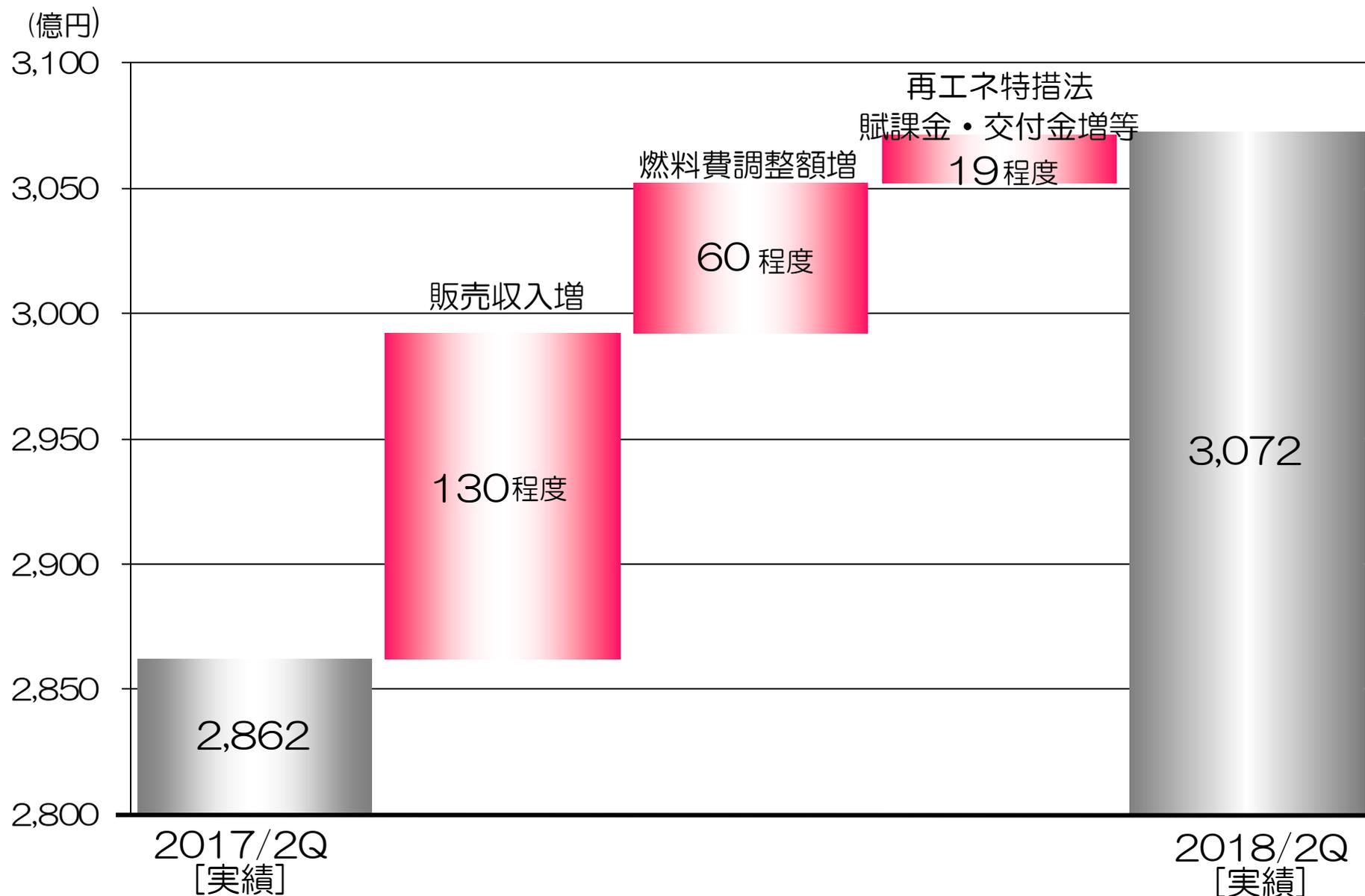
(参考) 連結対象会社数：連結子会社14社、持分法適用関連会社1社

(注) 億円未満切捨

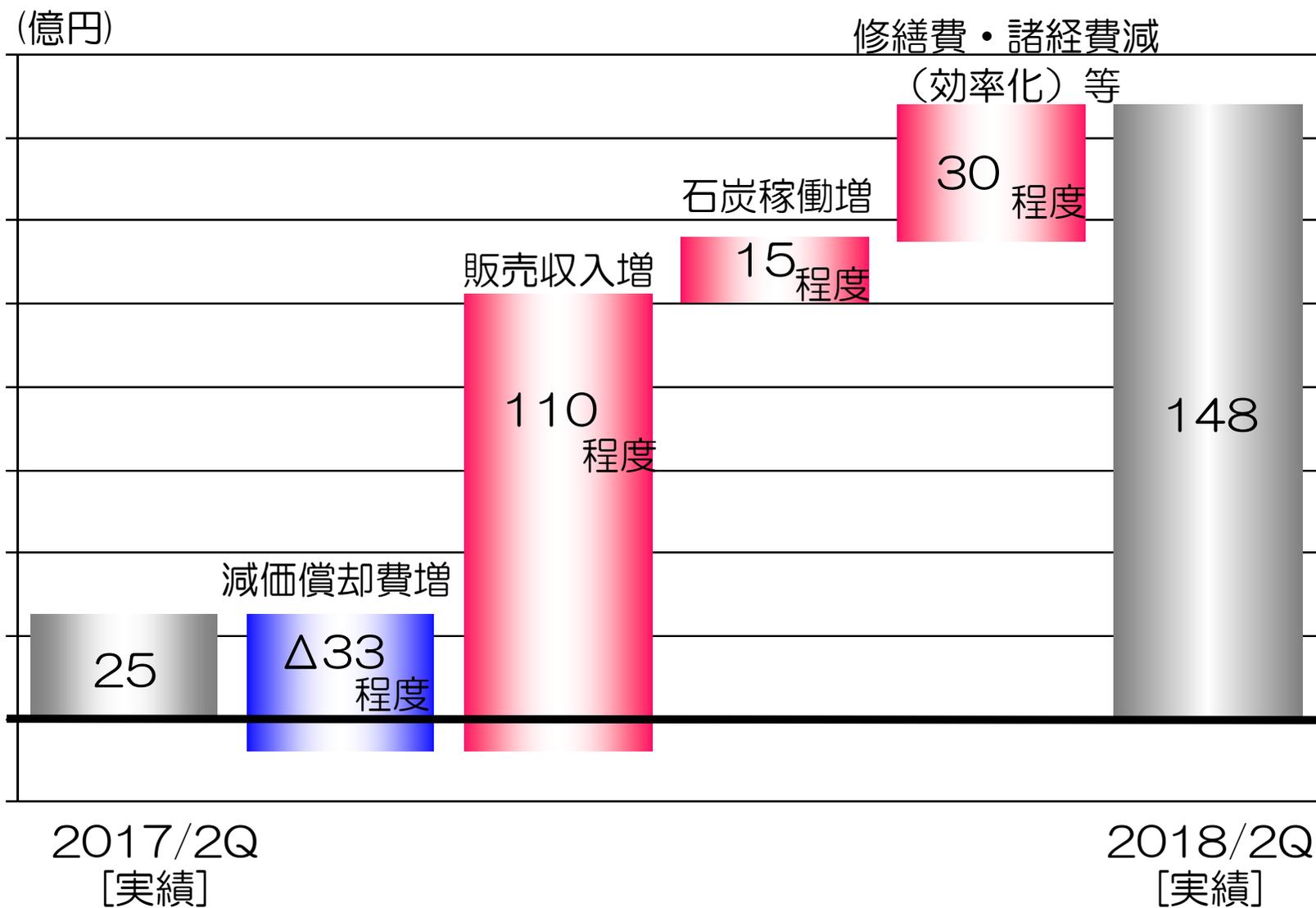
《2018年度中間配当》

⇒ 毀損した財務基盤の強化を図る観点から無配を決定。

連結売上高の変動要因 (前年同期対比+209億円[2,862→3,072])



連結経常利益の変動要因 (前年同期対比+122億円[25→148])



2018年度 業績予想および期末配当予想

		2018年度 見通し(A)	前回予想 (7/26公表) (B)	増減 (A)-(B)		(億kWh,億円) (参考)2017年度 実績
総販売電力量		305 程度	315 程度	Δ 10 程度	《主な増減要因》 ・卸販売電力量の減少	317
連結	売上高(営業収益)	6,300 程度	6,300 程度	—		5,962
	経常利益	未定	未定	—	26	
	親会社株主に帰属する 当期純利益	未定	未定	—	Δ 4	
個別	売上高(営業収益)	5,850 程度	5,850 程度	—	《見通し前提諸元》 〈為替〉 113円/\$程度 〈原油CIF[全日本]〉 77\$/b程度	5,491
	経常利益	未定	未定	—		Δ 56
	当期純利益	未定	未定	—	Δ 41	
配当予想[期末]		0円/株	未定	—		0円/株

(注) 億kWh未満四捨五入, 億円未満切捨

《利益予想》

⇒ 志賀原子力発電所が停止する中、七尾大田火力発電所2号機の復旧時期やその他の電源の稼働見通しなど需給状況を見極めていく必要があることなどから、現時点では「未定」。

《期末配当予想》

⇒ 志賀原子力発電所の再稼働時期および七尾大田火力発電所2号機復旧の見通しが立っていないことなど、厳しい経営状況を総合的に勘案し、無配の予定。

個別決算

(億円,%)

		2018/2Q (A)	2017/2Q (B)	増減 (A)-(B)	対比 (A)/(B)	主な増減要因
経 常 収 益	電灯・電力料	2,335	2,244	90	104.0	料金改定・燃料費調整額の増加
	(再工ネ特措法賦課金)	(315)	(299)	(16)	(105.4)	
	地帯間・他社販売電力料	260	182	77	142.4	卸販売収入の増加
	その他収入 [売上高]	304 [2,869]	249 [2,652]	55 [217]	122.2 [108.2]	託送収益の増加
	収益計	2,899	2,676	222	108.3	
経 常 費 用	人件費	244	252	△7	97.1	退職給付費用の減少
	燃料費	560	479	81	117.0	燃料価格の上昇
	修繕費	334	348	△14	96.0	設備全般にかかる修繕費の低減
	減価償却費	326	293	33	111.4	富山新港LNG1号機の試運転開始等に伴う増加
	購入電力料	474	475	△1	99.7	
	支払利息	45	49	△3	92.0	
	公租公課	151	149	2	101.7	
	その他費用 (再工ネ特措法納付金)	619 (315)	626 (299)	△7 (16)	98.9 (105.4)	諸経費全般の低減
	費用計	2,758	2,674	83	103.1	
経常利益		140	1	139	8,027.6	
湯水準備金引当又は取崩し		—	—	—	—	
法人税等		36	△1	37	—	
四半期純利益		104	3	101	3,208.4	

(注) 億円未満切捨

連結貸借対照表（要旨）

(億円)

	2018/2Q末 (A)	2017年度末 (B)※	増減 (A)-(B)	主な増減理由（当社分）
固定資産	13,014	12,812	201	
電気事業固定資産	8,210	7,700	509	— 設備竣工 699、減価償却 Δ310
その他	4,803	5,112	Δ308	— 建設仮勘定 Δ353
流動資産	2,824	3,074	Δ250	— 現金および預金 Δ331
総資産計	15,838	15,887	Δ48	
有利子負債	9,893	9,900	Δ6	
その他の負債	2,349	2,502	Δ153	— 未払金 Δ101、未払費用 Δ89
濁水準備引当金	208	208	-	
負債計	12,451	12,611	Δ159	
純資産計	3,387	3,276	110	— 四半期純利益104
[自己資本比率]	[20.6%]	[19.8%]	[0.8%]	
負債及び純資産計	15,838	15,887	Δ48	

※ 2017年度末の金額については、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等に伴い、流動資産に計上していた繰延税金資産を固定資産に振り替えた後の金額を表示。

(注) 億円未満切捨

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(億円)

	2018/2Q (A)	2017/2Q (B)	増減 (A)-(B)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー①	196	263	△67
税金等調整前当期純利益	148	25	122
減価償却費	345	311	33
その他	△297	△73	△224
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー②	△509	△461	△48
設備投資	△523	△473	△50
長期投資その他	14	11	2
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△8	455	△464
社債・借入金等	△6	478	△485
自己株式の取得・売却	△0	△0	0
配当金支払額③	△2	△22	20
IV. 現金等増減額 (I + II + III)	△322	258	△580
○ フリー・キャッシュ・フロー(①+②+③)	△315	△220	△95

(注) 億円未満切捨

Ⅱ. 参考データ集

(参考) 主要諸元・設備投資

〈主要諸元実績〉

	2018/2Q (A)	2017/2Q (B)	増減 (A)-(B)
総販売電力量 (億kWh)	152.1	149.7	2.4
為替レートの (円/\$)	110.3	111.0	△0.8
原油 CIF[全日本] (\$/b)	73.8	51.4	22.4
出水率 (%)	104.6	104.9	△0.3

〈燃料消費実績〉

	2018/2Q (A)	2017/2Q (B)	増減 (A)-(B)
石炭 (万t)	285	270	15
重油 (万kl)	11	18	△7
原油 (万kl)	8	14	△6
LNG (万t)	10	-	10

〈主要諸元 (年度見通し)〉

	1・2Q実績	3・4Q予想	2018年度
総販売電力量 (億kWh)	152.1	153	305
為替レートの (円/\$)	110.3	115	113
原油 CIF[全日本] (\$/b)	73.8	80	77

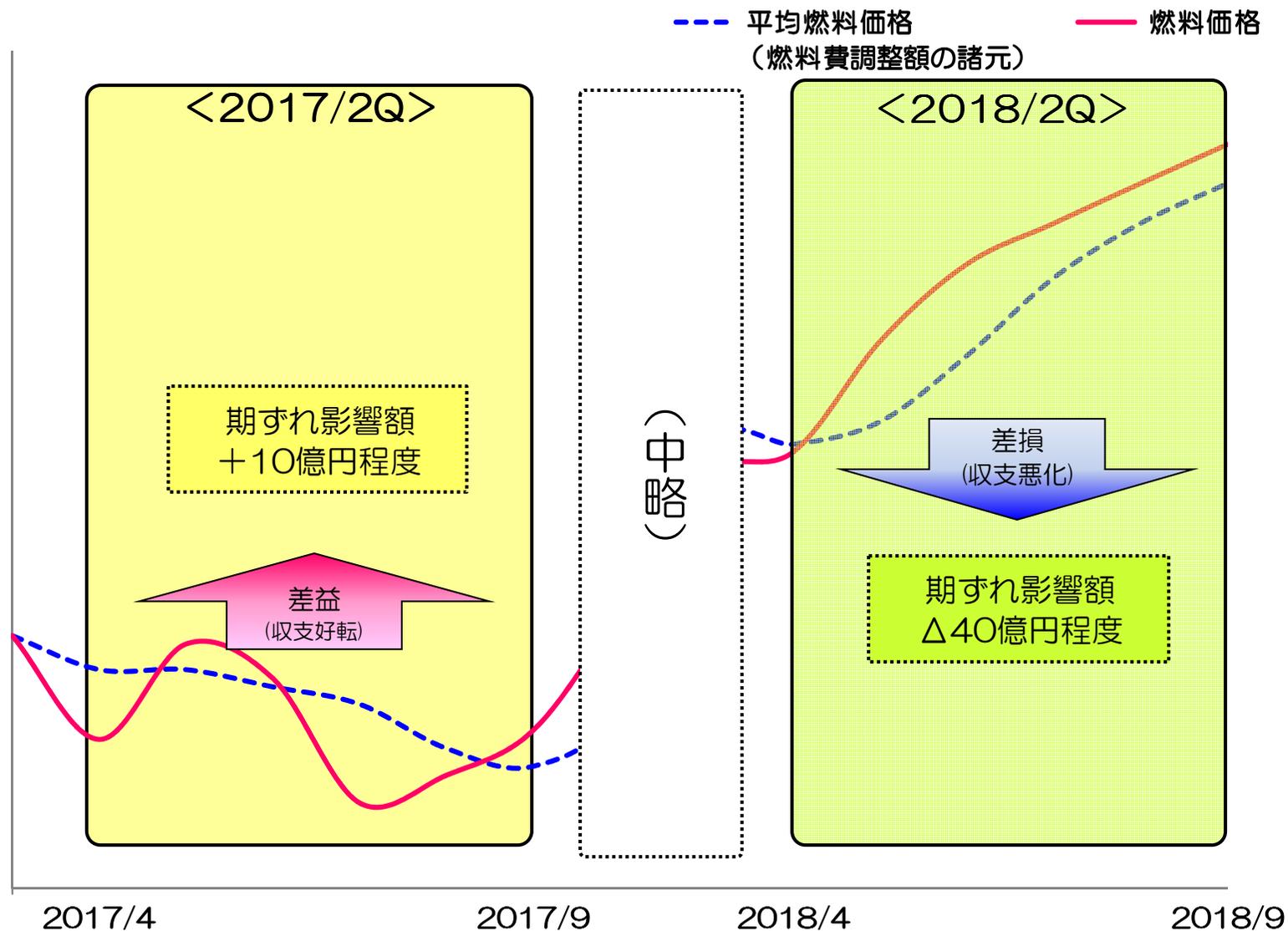
〈設備投資〉

		2013	2014	2015	2016	2017	2018 見通し
設備投資額 ※	[連結]	646	1,189	995	948	1,090	1,100程度
	[個別]	614	1,157	979	905	1,036	

※ 個別は、電気事業のみ

(注) 億円未満切捨

(参考) 燃料費調整制度の期ずれ影響イメージ[実績]



(注) 当該期ずれ影響は、実際の燃料費調整額と燃料価格の適用に遅れが無いと仮定した場合の金額であり、実際の燃料費等により算定される収支影響とは異なる。

(参考) 決算関係データ

〈損益計算書関係〉

(億円)

		2013	2014	2015	2016	2017
売上高	[連結]	5,096	5,327	5,445	5,425	5,962
	[個別]	4,956	5,130	4,941	4,976	5,491
営業利益	[連結]	198	399	381	105	148
	[個別]	157	352	287	25	53
経常利益	[連結]	98	223	280	20	26
	[個別]	73	181	189	△32	△56
当期純利益※	[連結]	25	89	128	△6	△4
	[個別]	16	66	87	△18	△41

※ 2015年度以降 連結は「親会社株主に帰属する当期純利益」

(注) 億円未満切捨

〈貸借対照表関係〉

(億円,%)

		2013	2014	2015	2016	2017
総資産額	[連結]	14,401	14,794	15,093	15,180	15,887
	[個別]	14,079	14,194	14,589	14,606	15,265
純資産額	[連結]	3,248	3,442	3,340	3,276	3,276
	[個別]	3,005	3,028	2,971	2,866	2,805
自己資本比率	[連結]	22.6	22.7	21.5	20.8	19.8
	[個別]	21.3	21.3	20.4	19.6	18.4

(注) 億円未満切捨

- 億円未満の数値は切捨て表示をしております。
- 本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を伴う将来に関する予想であります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。
- 本資料は、あくまで当社の経営内容に関する情報の提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 内容につきましては、細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではなく、記載された情報の誤りおよび本資料に記載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

お問い合わせ先

北陸電力株式会社 経理部 財務チーム

〒930-8686 富山市牛島町15番1号

TEL：076-405-3341、3336（ダイヤルイン）

FAX：076-405-0127



北陸電力株式会社

インターネットホームページの当社アドレス
インターネットメールの当社アドレス

<http://www.rikuden.co.jp/>
pub-mast@rikuden.co.jp